

# Amber sugar Plum

—砂糖菓子の宝石箱からデザイン発想した服飾制作—

滝澤研究室 森田 貞由



## 1. Theme & Concept

全平糖と琥珀糖が入った菓子デザインに落とし込みたいと考え、全平糖を意味する「sugar plum」と琥珀糖を意味する「Amber sugar」を組み合わせた造語、「Amber sugar Plum」をテーマとした。「甘い可愛らしさ」と「上品に光る美しさ」をデザインコンセプトとして設定し、共通のコンセプトを「砂糖菓子の宝石箱」とし、ムードボードを作成した(図1)。



図1 全平糖(左)と琥珀糖(右)のムードボード

## 2. Design

テーマリサーチの結果を基に、100体のデザイン画を描き、20体のコレクションラインを選定した。この中から、モチーフとフルーのフリルが全平糖と琥珀糖の美しさを最も表現していると考え、ドレス1体を制作することにした(図2)。



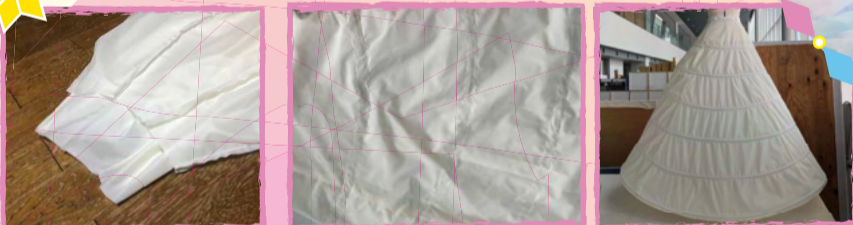
図2 制作することにしたデザイン

## 3. Bustier



採取した体型データをフリアコンボII 3D トルソー(兼し ACS 社製)に取り込みウェアラルボディを作成  
ボディ上で線を引き、アパレル CAD ソフトのパターンマジックでパターンを展開  
出かけたパターンをトワルで補正し、本布に印付けと裁断を行ってビスチエが完成

## 4. Pannier



パターンをナイロンタフタに配置し、表布、裏布をそれぞれ裁断した。それらを中表に合わせて縫製し、袋状にした。  
6段に分けた位置に2センチ幅で2本のステッチをかけ、ホーンを通して成形した。  
フロウランリボンを本布で包んで作成したヘルドとホックを手縫いし、パニエが完成した。

## 5. Motif

装飾には、オートワチュール刺繍のリュネベル刺繍でモチーフの作成をした。



図案を転写

9個のビジュアを縫い付け

ビーズ刺繍を施す様子

モチーフ完成

裏側に接着芯を貼付

刺繍完成

## 6. Pattern

ドレスのトップス部分は、デコレテラインのみ左右非対称だが他の部分は全て左右対称の為、先ず半身でパターン設計を行った後、両身をトワルに写して組み立てた。



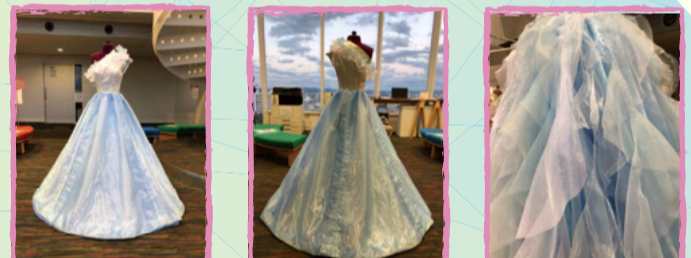
完成したビスチエの上にカッティングラインを入れて半身でパターン設計を行った。  
両身をトワルに写して組み立ててデコレテラインを決めた。  
タックを寄せたフリルをデコレテラインに配置してマスターパターンが完成した。

ドレスのスカート部分は、ブライダルサテンを土台とし、その上にオーガンジーを重ねる2重構造のデザインである為、先ず、パニエの上に土台のスカートを組み、マスターパターンを完成させた。



上スカートはウエストのギャザー分量を2倍にした。  
スカートの上に装飾として縫い付けるフリル部分は、渦巻き状のパターン設計を行った。  
仮縫いをしてホディに着装させ、補正した後、全身両身パターンが完成した。

## 7. Production



Front Back Frill  
本布にパターンを配置して縫い付けによる印付けを行った後、裁断し、仮縫いと試着補正をした。

トップス、土台のスカート、上スカートの順に本縫いした。仕立にファスナー、裏地、ビスチエを付け、ピコ処理した装飾のフリルを上スカートに手縫いで付けた。モチーフとスワロフスキーのラインストーンをドレスに貼付し、作品が完成した(図3)。



図3 完成した作品

## 8. Complete

本制作では、テーマ設定、デザイン、制作に取り組んだ。4年間の集大成となるような、今までの技術に加えて新たに取り入れたオートワチュール技法は、大変難しかった。技術的に至らない部分も多々あり、想像以上に時間がかかり、繊細で美しい作品に仕上げることは非常に苦労した。しかし、最終的にテーマである全平糖と琥珀糖の砂糖菓子の宝石箱を表現する作品を完成させることが出来たと考える。